

お知らせ

[Mihoko Iijima](#) · 2020年11月26日

開発テンプレート（IRIS Analytics Template）の使い方のご紹介（第8回 InterSystems IRIS Analytics コンテスト）

開発者の皆さん、こんにちは！

この投稿では、[第8回 InterSystems IRIS Analytics コンテスト](#) の [開発テンプレート（IRIS Analytics Template）](#) の使い方をご紹介します。

開発テンプレートは、Gitからソースコードをダウンロードし、コンテナを開始するだけで [Johns Hopkins repository](#) で公開されている COVID-19 のデータを使用した InterSystems BI（旧DeepSee）での分析環境が準備できます（サンプルデータが入ったテーブル、モデル定義、ピボットテーブル、ダッシュボードが準備されます）。

コンテストでは、開発テンプレートをベースとし、コードを追加しながらオリジナルアプリケーションを開発いただいたり、新規で作成いただいたり、自由に開発いただけます。

InterSystems BI を使ったアプリケーションでチャンレンジされる場合は、ぜひ、ここで紹介している開発テンプレートをご利用ください！

この他、サンプルアプリケーションの例は、[コンテスト告知ページ](#)をご参照ください！

メモ：開発テンプレートはコンテスト以外の目的にもご活用いただけます！

以下、事前準備についてご説明します。

開発テンプレートをご利用いただくために、以下3つのソフトウェアのインストールが必要です。

- [Docker](#) のインストール（コンテナを管理するアプリ）
- [Git](#) のインストール（ソースを管理するアプリ）
- [VSCode](#) のインストール（IDE）

事前準備が整いましたら、開発テンプレートの使い方解説ビデオをご参照ください（ビデオは以下の5本に分かれています。お好みの場所からご参照ください）！

- [パート1-開発テンプレートに含まれる内容](#)
- [パート2-サンプルデータ・キューブの概要説明](#)
- [パート3-新しいデータのインポート（ZPMパッケージマネージャの使い方）](#)
- [パート4-新しいキューブ・ピボット・ダッシュボードの作成とVSCodeへのエクスポート](#)
- [パート5-ダッシュボード以外のUIを使ってみる（DeepSeeWeb）](#)

パート1 - 開発テンプレートに含まれる内容について

開発テンプレートのコードは [Git](#) に公開されています。

URLをコピーした後、以下実行します。

```
git clone [?????URL????]
```

clone で作成されたディレクトリに移動後 docker-compose.yml を利用して、コンテナをビルド+開始します。

```
docker-compose up -d
```

コンテナを停止する場合は、以下実行します。

```
docker-compose stop
```

パート2 - サンプルデータ・キューブの概要説明

サンプルデータは、[Johns Hopkins repository](#) で公開されている COVID-19 のデータを使用しています。

パート2のビデオでは、以下の内容をご紹介します。

- InterSystems BI（旧DeepSee）のキューブサンプル
- ピボットテーブルサンプル
- ダッシュボードサンプル

目次

00:00～00:13 アーキテクト画面の開き方

00:13～02:05 サンプルデータについて

テーブル仕様については、[こちら](#)をご参照ください。

02:05～04:02 アーキテクト画面の使い方

04:02～ アナライザ画面の使い方（ピボットテーブル作成画面）

パート3 - 新しいデータのインポート（ZPMパッケージマネージャの使い方）

パート3では、以下の内容をご説明します。

- ZPMについて
- [OpenExchange](#) に公開されている [ZPM \(IRISのパッケージマネージャ\)](#) を利用した OpenExchange の公開アプリケーションインポート方法
- ZPM対応アプリケーションのインストール方法 ([csvgen](#))
- CSVデータのインポート方法

注意：OpenExchangeに公開されているアプリケーションは、インターシステムズが正式にサポートしているものではありません。

目次

00:00～00:53 [ZPM \(パッケージマネージャ\)](#) について

00:53～05:27 [csvgen](#) のインポートとCSVのインポート

05:27～ データの確認

パート4 - 新しいキューブ・ピボット・ダッシュボードの作成とVSCodeへのエクスポート

パート4では、以下の内容をご説明します。

- インポートした CSV データを利用して、新規でキューブを作成する方法
- ピボットテーブルを新規で作成する方法
- ダッシュボードを新規で作成する方法
- 作成した定義を VSCode にエクスポートする方法

目次

00:00～01:35 キューブの新規作成

01:35～02:55 ピボットテーブルの作成

02:55～04:59 ダッシュボードの新規作成＋ウィジェットの追加

04:59～ VSCode へ作成した定義をエクスポートする方法

パート5では、[OpenExchange](#) に公開されている [ZPM \(IRISのパッケージマネージャ\)](#) を利用し、InterSystems BI が提供しているダッシュボード画面以外のUI ([DeepSeeWeb](#)) をインポートする方法をご紹介します。

注意：OpenExchangeに公開されているアプリケーションは、インターシステムズが正式にサポートしているものではありません。

00:00~01:41 ZPM対応パッケージ：[DeepSeeWeb](#) のインストール方法

01:41～ DeepSeeWeb のUI 確認

以下URLを入力します（ポート番号は環境に合わせて変更してください）

<http://localhost:ポート番号/dsw/index.html#/IRISAPP/>

[#コンテスト](#) [#コンテナ化](#) [#ビデオ](#) [#分析](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E9%96%8B%E7%99%BA%E3%83%86%E3%83%B3%E3%83%97%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%88EF%BC%88iris-analytics-template%E3%83%89%E3%81%AE%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9%E3%81%AE%E3%81%94%E7%B4%B9%E4%BB%8B%E3%83%88%E7%AC%AC8%E5%9B%9E-intersystems-iris-analytics-%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88EF%BC%89>